

日産財団ニュースレター (第16号)

2015年10月発行

はじめに

日産財団では、理科教育助成対象校の1年目の活動状況を把握するため学校訪問を実施しています。それぞれの学校の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。

◆ 2014年度助成校の活動紹介 (2015年9月末までに訪問した8校)

福岡県 苅田町立片島小学校



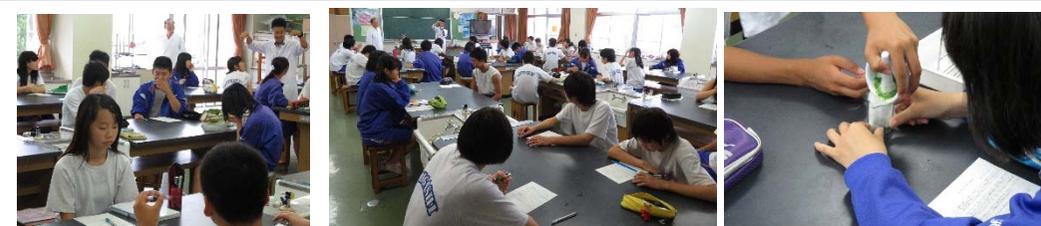
福岡教育大学の伊藤克治教授を招いての親子理科実験(紙コップやストローなどの身近なものを使って音を出す実験)

神奈川県 横浜市立元街小学校



きせつのがいはっけんたいの1年生の発表、5年生のメダカのオスメスの違いの観察、4年生の電池の向きとモータの回転方向

神奈川県 秦野市立東中学校



3年生の理科実験として、自分たちで教材のブロックリーのDNAを抽出する理科授業

神奈川県 横須賀市立坂本中学校



地域の人や小学校教員を招いて、豊かな環境が残っている坂本中校内の自然観察と講師による説明会

神奈川県 横浜市中学校教育研究会理科部会



山中中で行われた2015年度第1回授業研究発表。3年生の「酸性・アルカリ性水溶液の混合」の授業で、身近な水溶液には酸性からアルカリ性までいろいろあることを学び、さらに中和反応も実験。

福島県 いわき市立御厩小学校



5年2組の物のとけ方で、食塩を水に溶かす場合、その総重量は水よう液で変化するかの授業研究会

福島県 南会津町立荒海中学校



1年生の「物質の姿と状態の変化」の授業、先に風船付けた水入りの丸底フラスコを加熱・冷却したときの風船の状態の変化を粒子モデルを使って討議。右端、授業に活かせるミニ実技講習会

福島県 いわき市立中央台南中学校



1年生の「身のまわりの物質」の授業、水置換で捕集した二酸化炭素と酸素の区別を石灰水、リトマス試験紙、火のついた線香などを入れるなどで、その反応から推定する実験